

2022 年度「事業報告書」

2023 年 6 月 28 日

さいたま市浦和区 9—19—6 埼玉 YMCA 浦和センター内

特定非営利活動法人 埼玉 NGO ネットワーク

代表理事 赤石和則

電話 090 - 1107 - 5188

1. 事業の成果

2022 年度は、コロナ禍のある程度の終息が見られた中で、埼玉 NGO ネットワーク（以下、当ネット）にとっても、「対面」での会合やイベント復活の兆しが見えた一年でした。新体制理事会のもとでの 2 年目の活動でしたが、おおむね事業計画をしっかりと実施することができました。

NGO の強化学業、NGO 間の協力学業については、当初計画通りに実施することができました。今年度の定例会（情報交換会）は、総会開催月の 6 月に加え、その後は隔月で 7 月、9 月、11 月、1 月、3 月に開催することができました。このうち 1 月実施の定例会の後には、公開勉強会として、埼玉県国際課と SIA（公益財団法人埼玉県国際交流協会）が事務局を務める「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」との共催で、ネットワーク合同研修会を開催しました。テーマは、埼玉県内で多文化共生を進めるために必要なとりくみ、またそのための行政と NGO との連携のあり方などでした。参加者は埼玉県内の NGO や県内の市町村職員（多文化共生担当）など 50 名でした。この研修会は、当ネットの会員団体にとっても、自らの活動をより活性化させていくうえで多くの学びを得ることとなりました。当ネット代表（赤石）が、この研修会のまとめとして、「研修会で提起されたこと、今後のとりくみについて」を発表しました。

当ネットの広報、また会員団体紹介などを内容とする冊子（ブックレット）については、2022 年度は、簡易版（A4 サイズ 2 ページ）の作成にとどまりました。当初は、会員団体紹介なども含めた 30～50 ページほどの計画でしたが、予算の見込みが十分に立たなかったことなどのため、簡易版の作成になりました。

グローバル市民育成事業、市民向け理解促進事業については、2011 年から 2022 年まで、12 年間にわたって、同一名称で毎年開催してきた「グローバルセミナー」を、今年度に限って中止することを決めました。その理由は、開催の重要テーマのひとつである SDG s（持続可能な開発目標）を軸とした事例報告と今後の行動提案などを、さらにもう一步具体的な実践につなげるための内容を提起する時間と力量が十分に得られなかったことです。2023 年度は、そのことを踏まえ、早い時期から準備をスタートさせるべく、内容の検討と実施体制（タスクチーム）の確立に取り組んでいます。コロナ禍の落ち着きもあり、久しぶりの対面での開催が見込まれます。

このグローバルセミナーに代わって、2022 年度は、新しい事業として「国際協力フェア in Saitama」を開催しました。国際協力の活動にとりくむ NGO や行政機関、企業を紹介することを通して、幅広い県民・市民の理解と協力を得ることが目的でした。12 月 18 日（日）10～16 時、JR 大宮

駅東口の市民会館おおみや（レイボックホール）4階の集会室（3室）や和室を借り切ったのセミナーには、20団体・機関が出展しました。来場者は、出展側のスタッフ・ボランティアも入れて200名に及びました。出展20のうち、7団体は当ネットの会員で、13団体は会員外のNGOや行政機関・企業などでした。会員外の出展が多かったことから、埼玉県民・市民のニーズに幅広く応えることができました。このフェアの開催にあたっては、ワールド・サポート・プロジェクト（WSP）をはじめとする会員団体や個人のボランティアが多くの活動を担ってくれました。大変ありがたいことでした。この「フェア」は12月21日付の東京新聞（埼玉版）でも取り上げられました。

例年開催の「国際フェア」（会場：スーパーアリーナ）は2022年度も中止となりました。しかし2023年度は開催の見込みとなっていることから、2023年度は、上記の「国際協力フェア」の成果を踏まえて、この国際フェアに合流する計画です。

埼玉県内の協力・関係機関、また全国規模のNGO等との連携においても、2022年度も引き続き成果をあげることができました。埼玉県内の関係機関の全面的な支援・協力がなければ、当ネットはここまでの活動を進めることは不可能でした。埼玉県、公益財団法人埼玉県国際交流協会（SIA）、さいたま市、JICA 東京（埼玉デスク）の、それぞれの担当のみなさまに、心からの感謝を申し上げます。当ネットは、今後とも幅広い県民・市民、国際協力団体、関係企業、学校等へ情報提供、活動促進に尽力してまいります。

2. 事業の実施に関する事項（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数		支出額
(1) NGOの強化事業	①通常総会開催	6月23日	オンライン	13名 団体会員	会員	13団体 個人会員	0
	②理事会開催	6月23日 9月22日 3月23日	オンライン	6名	会員	理事、 監事 6団体	0
(2) NGO間の協力事業	③定例会 (情報交換会)	5月26日 7月28日 9月22日 11月24日 1月26日 3月23日	オンライン	5～13名	会員、 関係機関 他	13団体 個人会員 4関係機関	0
	④公開勉強会・ ミニセミナー 「ネットワーク 合同研修会」	1月26日	オンライン	5～13名	会員 関係機関 埼玉県民	13団体 個人会員 4関係機関 他	●講師謝金 10,000円 ●振込手数料 220円 ※関連 (5)③参照
	⑤会員事業への 協力・会員間の 情報提供・会員 間の情報提供・ ネットワーキング 促進	通年	各役員、 会員からの 発信を、MLや HPで発信	10名	会員	13団体 個人会員 6関係機関	0

	⑥ホームページによる情報発信の強化	通年	埼玉 NGO ネットの広報、会団体・個人の広報	10名	会員 県民	13 団体 個人会員	●広報費 5,000 円 ●振込手数料 100 円
	⑦冊子（ブックレット）の発行：簡易版	通年	会員	13名	会員	13 団体 個人会員	0
	⑧会員への入会促進	通年		13名	会員	団体会員 13 個人会員 3	0
(3) グローバル市民育成事業 (4) 市民向け理解促進事業	グローバルセミナー2023の開催	(中止)					
	市民向けイベント：国際協力フェアの開催	12月18日	市民会館 おおみや 4階 展示室・和室	20名	会員 出展団体 NGO 関係者、 小中学生 高校生 大学生、 市民	参加者： 200名	●資料作成費 18142 円 ●消耗品費 10503 円 ●出展料 35220 円 ●通信費 2864 円 ●振込手数料 200 円
	連携協力機関による「国際フェア」への参加	(中止)					0
(5) 関係機関等との連携事業 (6) 全国の NGO との連携事業	①埼玉県国際課との連携	通年	定例会参加、資料配付	6名	会員 関係機関	13 団体 個人会員	0
	②埼玉県計画調整課との連携「SDGs 官民連携プラットフォーム」加入	通年	ML を通した情報提供	1名	会員	13 団体 個人会員	0
	③埼玉県国際交流協会（SIA）との連携「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」等	通年	代表幹事団体として参加。 「ネットワーク合同研修会」を共催（オンライン）	7名 理事他	会員 関係機関	13 団体 個人会員	●団体会費（SIA） 3,000 円
	④さいたま市都市戦略本部との連携	通年	さいたま市の SDGs 方針等を	2名	会員	13 団体 個人会員	0

	「さいたま市 CS・SDGs パートナーズ共同宣言書」締結		会員に送付 * 定例会参加				
	⑤大学との連携	通年	芝浦工大 中口研究室との連携	2名	会員 その他	13 団体 個人会員	0
	⑥埼玉県内 NGO との連携	通年	埼玉 NGO ネットワーク HP や会員からの情報発信、活動参加等	6名	会員 関係機関 埼玉 NGO ネット会員以外	13 団体 その他	0
	⑦国際協力機構 (JICA) との連携	通年	* 定例会等への参加 共催事業推進 NGO- JICA 協議会参加	2名	会員 関係機関	13 団体 個人会員	0
	⑧外務省との連携	通年	NGO・外務省定期協議会 ODA 政策協議会 コーディネーター	1名	会員	13 団体 その他	0
	⑨全国ネットワーク NGO との連携	通年	全国 12 のネットワーク組織との連携・情報交換	2名	会員	13 団体	●会費 5000 円 ●振込手数料 220 円
	⑩国際協力 NGO センター (JANIC) との連携	通年	オンライン会合など	2名	会員	13 団体	0
事業費計							90,469 円

(2) 営利活動に係る事業
なし